



平成24年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月2日

上場会社名 株式会社野田スクリーン
 コード番号 6790 URL <http://www.nodascreen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年3月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 堀尾 貞夫
 (氏名) 小川 清志

上場取引所 東 名
 TEL 0568-79-0222

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第3四半期の連結業績(平成23年5月1日～平成24年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第3四半期	2,213	△14.1	175	△24.2	224	△13.0	152	△8.4
23年4月期第3四半期	2,576	△6.9	231	△49.3	257	△45.6	165	△40.6

(注)包括利益 24年4月期第3四半期 132百万円 (△9.9%) 23年4月期第3四半期 147百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年4月期第3四半期	1,443.09	—
23年4月期第3四半期	1,556.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年4月期第3四半期	7,324	6,842	93.4	65,624.60
23年4月期	7,274	6,810	93.6	63,873.95

(参考)自己資本 24年4月期第3四半期 6,842百万円 23年4月期 6,810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年4月期	—	400.00	—	200.00	600.00
24年4月期	—	200.00	—	—	—
24年4月期(予想)	—	—	—	200.00	400.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,180	△3.9	240	△3.5	300	6.5	194	11.9	1,846.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年4月期3Q	105,521 株	23年4月期	110,393 株
② 期末自己株式数	24年4月期3Q	1,256 株	23年4月期	3,770 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年4月期3Q	105,330 株	23年4月期3Q	106,623 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に伴い持ち直しの動きが見られたものの、欧州における金融不安や中国の成長率の鈍化などによる世界経済の減速や円高の長期化などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

電子部品業界では、スマートフォンを始めとした情報通信端末の広がりにより、通信関連の需要は堅調に推移しました。しかしながらパソコンや家電製品におきましては、市場の成長率鈍化に加え、タイの洪水によるサプライチェーンの混乱の影響もあり、厳しい状況のうちに推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは生産性改善やコストダウンについて継続的に取り組むとともに、プリント配線板加工事業においては次世代加工技術の確立、化学材料事業では新製品の開発に注力いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,213,011千円（前年同四半期比14.1%減）、営業利益は175,267千円（前年同四半期比24.2%減）、経常利益は224,200千円（前年同四半期比13.0%減）、四半期純利益は152,001千円（前年同四半期比8.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①プリント配線板加工事業

プリント配線板加工事業におきましては、主力となる半導体パッケージ関連のフラットプラグ加工の受注が大きく減少した反面、情報通信端末の拡大に伴い通信基地局を始めとした通信関連のフラットプラグ加工の受注は堅調に推移しました。また、期後半にかけては生産性改善やコストダウンについての取り組みの効果が見られました。

以上により、プリント配線板加工事業の売上高は1,612,405千円（前年同四半期比4.5%減）、セグメント利益は541,769千円（前年同四半期比20.3%増）となりました。

②化学材料事業

化学材料事業におきましては、東日本大震災やタイ洪水によるサプライチェーンの混乱により一部製品において在庫調整の影響を受けました。また、山梨工場につきましては、引続き本格稼働の準備に注力した結果、前年と比較して費用が増加しました。

以上により、化学材料事業の売上高は428,544千円（前年同四半期比11.0%増）、セグメント損失は100,365千円（前年同四半期は5,904千円の損失）となりました。

③設備機器関連事業

設備機器関連事業におきましては、電子部品業界の低迷を受け、期前半では大型設備案件の受注がないことに加え、プリント配線板加工用材料の受注も低調に推移しました。期後半にかけては、プリント配線板加工用材料の受注に持ち直しの傾向が見られました。

以上により、設備機器関連事業の売上高は172,061千円（前年同四半期比65.7%減）、セグメント利益は52,467千円（前年同四半期比46.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は7,324,017千円（前連結会計年度末比49,186千円増）となりました。この内、流動資産は4,234,253千円（前連結会計年度末比265,910千円増）となりました。これは主に現金及び預金が287,314千円、受取手形及び売掛金が74,166千円それぞれ増加したことと、未取還付法人税が66,541千円減少したことによるものです。固定資産は、3,089,764千円（前連結会計年度末比216,724千円減）となりました。これは主に有形固定資産が166,006千円、投資その他の資産が33,149千円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は481,668千円（前連結会計年度末比17,270千円増）となりました。この内、流動負債は342,876千円（前連結会計年度末比8,029千円増）となりました。これは主に買掛金が35,318千円減少したことと、未払法人税等が15,518千円増加したことによるものです。固定負債は138,792千円（前連結会計年度末比9,240千円増）となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は6,842,348千円（前連結会計期間末比31,916千円増）となりました。

これらの結果、自己資本比率は93.4%（前連結会計年度末は93.6%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年2月21日の「平成24年4月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,847,710	3,135,025
受取手形及び売掛金	921,879	996,046
商品及び製品	5,859	5,894
仕掛品	4,128	6,319
原材料及び貯蔵品	49,879	48,813
繰延税金資産	25,868	17,288
未取還付法人税等	66,541	—
その他	47,109	28,167
貸倒引当金	△634	△3,301
流動資産合計	3,968,343	4,234,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,844,479	2,851,698
減価償却累計額	△1,398,373	△1,485,876
建物及び構築物（純額）	1,446,106	1,365,821
機械装置及び運搬具	1,975,110	1,992,923
減価償却累計額	△1,578,534	△1,678,891
機械装置及び運搬具（純額）	396,576	314,032
工具、器具及び備品	226,858	244,003
減価償却累計額	△184,644	△201,660
工具、器具及び備品（純額）	42,213	42,343
土地	469,974	469,974
建設仮勘定	3,307	—
有形固定資産合計	2,358,177	2,192,171
無形固定資産		
投資その他の資産	67,480	49,912
投資有価証券	367,267	548,986
長期貸付金	24,854	23,237
繰延税金資産	43,512	37,253
その他	473,675	265,066
貸倒引当金	△28,480	△26,863
投資その他の資産合計	880,830	847,680
固定資産合計	3,306,488	3,089,764
資産合計	7,274,831	7,324,017

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	127,703	92,384
未払法人税等	770	16,288
賞与引当金	62,549	35,174
その他	143,824	199,029
流動負債合計	334,847	342,876
固定負債		
長期未払金	94,211	94,217
退職給付引当金	30,340	38,914
その他	5,000	5,660
固定負債合計	129,551	138,792
負債合計	464,398	481,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,196,350	1,196,350
資本剰余金	2,051,849	2,051,849
利益剰余金	3,729,075	3,616,195
自己株式	△192,179	△27,865
株主資本合計	6,785,095	6,836,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,520	△2,330
繰延ヘッジ損益	△23	△7
為替換算調整勘定	12,839	8,157
その他の包括利益累計額合計	25,336	5,819
純資産合計	6,810,432	6,842,348
負債純資産合計	7,274,831	7,324,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成24年1月31日)
売上高	2,576,204	2,213,011
売上原価	1,432,595	1,213,265
売上総利益	1,143,609	999,745
販売費及び一般管理費	912,272	824,478
営業利益	231,336	175,267
営業外収益		
受取利息	13,352	15,732
受取配当金	867	1,139
受取賃貸料	31,435	33,950
その他	6,765	8,006
営業外収益合計	52,420	58,829
営業外費用		
為替差損	19,929	2,796
貸与資産減価償却費	6,161	4,545
貸倒引当金繰入額	—	2,091
その他	4	462
営業外費用合計	26,095	9,896
経常利益	257,662	224,200
特別利益		
前期損益修正益	515	—
固定資産売却益	555	393
貸倒引当金戻入額	1,200	—
特別利益合計	2,272	393
特別損失		
固定資産売却損	512	59
固定資産除却損	—	396
特別損失合計	512	456
税金等調整前四半期純利益	259,421	224,137
法人税、住民税及び事業税	51,713	47,468
法人税等調整額	41,791	24,668
法人税等合計	93,504	72,136
少数株主損益調整前四半期純利益	165,916	152,001
四半期純利益	165,916	152,001

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	165,916	152,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,017	△14,851
繰延ヘッジ損益	44	16
為替換算調整勘定	△13,897	△4,682
その他の包括利益合計	△18,870	△19,517
四半期包括利益	147,046	132,483
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,046	132,483
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年5月1日 至平成23年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	プリント配線板 加工事業	化学材料 事業	設備機器 関連事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,688,400	386,040	501,763	2,576,204
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	462	462
計	1,688,400	386,040	502,226	2,576,667
セグメント利益又は損失（△）	450,274	△5,904	97,194	541,564

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	541,564
セグメント間取引消去	946
全社費用（注）	△311,174
四半期連結損益計算書の営業利益	231,336

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年5月1日 至 平成24年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	プリント配線板 加工事業	化学材料 事業	設備機器 関連事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,612,405	428,544	172,061	2,213,011
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	148	148
計	1,612,405	428,544	172,210	2,213,160
セグメント利益又は損失(△)	541,769	△100,365	52,467	493,872

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	493,872
セグメント間取引消去	1,969
全社費用（注）	△320,574
四半期連結損益計算書の営業利益	175,267

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年9月2日開催の取締役会で、会社法第178条の規定に基づき普通株式4,872株の自己株式の消却を決議し、9月16日に実施いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が222,594千円減少し、利益剰余金が同額減少しております。